

文旦ムキムキ通信

文旦好きがこうじて、ムキムキ報告！

●2024年8月発行 ●第15号(年3回更新) ●企画・制作・発行・デザイン／アトリエよくばりチリス
〒780-0301 高知市春野町弘岡上1176-2 [携帯] 090-3784-3307 [e-mail] korisu@lime.ocn.ne.jp

2024.8



イベントでは「その場でパクパク食べられる!」と、お客様にも好評ですのでみんなで手分けして大量のサプライズ文旦を作ります。みんなと一緒に掲載していただいたうれしい記念号、こちらからご覧になっていただけます。(トップページに飛んでいただき、全ページ、バックナンバーも是非!)



文旦ムキムキ
文旦ムキムキ通信
高知県が発行している
文化広報誌「とさぶし」で
ご紹介いただきました!



2024 春の草や感謝祭に
参加させていただきました



今年も4月20日「草や感謝祭」でファームベジコときゅうり+うま味噌販売と文旦ムキムキ教室をさせていただきました。美味しいものが一同に集まるイベント! 幸せな時間でした。



岡林農園の文旦は
この橋を渡ってあなたの元へ!
高知県高岡郡越知町にある岡林農園さん。朝トラ「らんまん」では、牧野富太郎博士の植物学に対する芽を育てた横倉山がクローズアップされていました。また、映画「竜とそばかすの姫」で注目された浅尾沈下橋は、まさに岡林農園さんへと続く橋! 文旦を食べる時、またオリジナル商品をおいしくいただく時など、清流に淀川の美しさ、緑豊かな風景までもが思い出されます。
来年の露地文旦の時期が楽しみです。

岡林農園公式ホームページ
<https://buntan-oc.com>



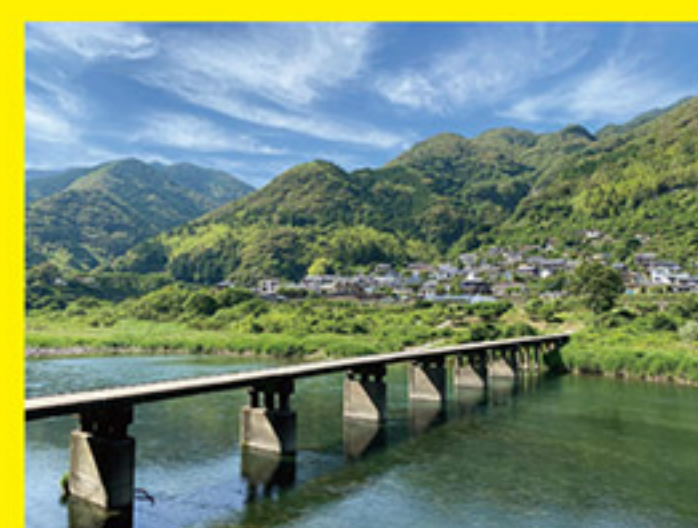
写真・蔵田 克巳



11年前になりますか、京阪神エルマガジン社発行「Meets」の特集で、フードスタイリスト&映画「eat rip」の監督野村友里さんの初高知取材がここ「草や」で行われました。店主である和典典さんと師匠(故)横山礼子さんの対談風景を懐かしく思い出していました。
この日、藤本和剛編集長とカメラマン竹田俊吾さんがこたわられた戸外撮影も、緑豊かな「草や」さんのお庭で。木漏れ日に揺れる光の中で、ムキムキ文旦をカシャッ!「れいでい雅雅(長崎雅代&松田雅子)」も素敵に取材していただいています(是非中ページを探してみてください)。



エルマガジン社さんのMOOK本
「高知」の表紙にムキムキ文旦を使っていたいただきました。



夏も本番! 「土佐文旦と旅」特集!



夏も本番! 「土佐文旦と旅」特集!



学校法人龍馬学園
龍馬看護ふくし専門学校
子ども未来学科
2年生の皆さん
文旦ムキムキ講座へ
ご参加ありがとうございました。



photo by 永田 智恵

今年は金曜はりまや市、みかん家にしごみさんとタイアップ！

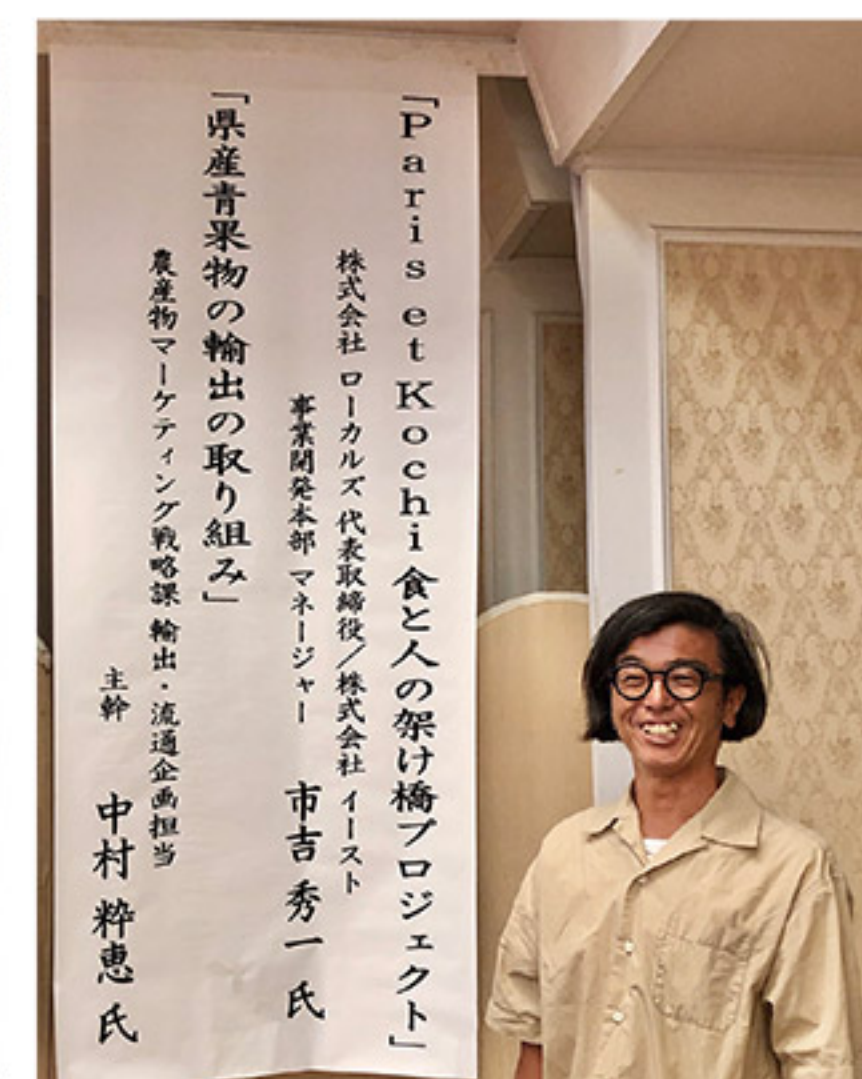
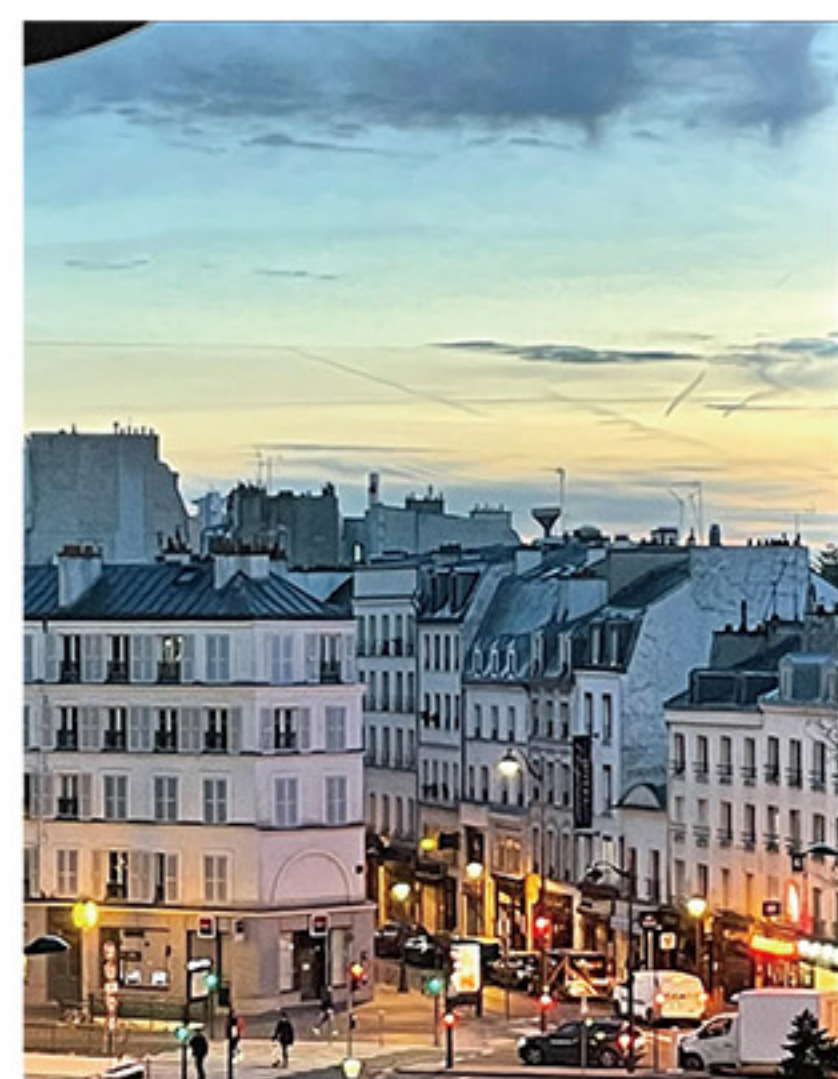


4月5日、今年もはりまや橋商店街で毎週開催されている「金曜はりまや市」とタイアップさせていただき、「はりまや文旦感謝祭」を開催することができました。毎年商店街の真ん中に野囲いを作ってくださいの「みかん家にしごみ」さん。今年は無理を言って柑橘ジュースの試飲販売もご協力いただきました。「文旦ムキムキ隊」のホープ MIO ちゃんも一年一年ムキムキに磨きがかかって大助かりです。房作りの KEN、種とりの MIO、組みの MANBU の流れ作業で、早い早い！最速で「サブライズ文旦」が仕上がっていききました。

嬉しかったのは、北海道からいらっしゃった観光客の方が試食してくださって即！文旦ファンになってくださったこと！
ジュースもひとケース購入してくださる方がいたり、来年も「文旦ムキムキと加工品のタイアップ」の相乗効果、いいかも！



令和6年度
土佐文旦振興
対策協議会総会
および土佐文旦
生産者交流会



7月8日 高知会館で土佐文旦振興対策協議会総会が開催されました

パリオリンピックの中継で連日その美しさに魅せられている「花の都パリ」。今年3月14日～17日まで開催された「パリ国際旅行博 Salon du Tourisme」に参加された市吉秀一さん(株式会社ローカルズ代表取締役)と株式会社イースト事業開発本部マネージャー)のお話は、実にタイムリーで興味深いものでした。

「美食の都」と言われ世界中の人たちを虜にしている食文化を持つパリの人たちに、パリに負けず劣らず豊かな高知の食文化を伝えたい

「Please eat more food and the架け橋プロジェクト」講演のタイトルからもその情熱が伝わってきました。市吉さんが今回テーマに決められたのが「生姜」。「事前のリサーチでは高知の柚子はシェフのパレットに乗っていますが、生姜は（スパイスとしての）需要はあるものの」全然意識されてないとのこと。そこで、瑞々しくフレッシュな辛みをもつ刈谷農園さんの「生姜」を使って高知を代表するシヨコラティエ「ポワリエシヨコラさん」にお願いして「土佐ジンジャーチョコレート」に仕上げて頂きました。市吉さんは、バリで活躍する日本人シェフや、バリ郊外で野菜を作っているファーマーなど会う方々に積極的に試食してもらって大きな手ごたえを感じられたそう！

「世界じゅうが美味しいうちが繋がります」といいます。まだまだ可能性のある高知の食文化をどんどん売り込んで参ります！土佐文旦もどうぞよろしくお祈りします！



またその後行われた懇親会で偶然私の隣の席だった方がこちら。高知県農業技術センター果樹試験場 主任研究員 山崎安津博士（農学）。お若い研究者の方々が積極的にブンタンの新品種開発に取り組んでおられる話に胸が熱くなりました。種が少なく剥きやすい新品種「ポナルーナ」に興味津々の私達。「是非一度試食会をやりましょう！」と盛り上がりました。

総会では、若い生産者さん同士の交流会や、才田春光さんの土佐文旦アンバサダー就任、販売情勢などが報告されました。

生産者交流会では、上記市吉さんのお話の他にも、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）高知貿易情報センター所長米山由章氏のお話「かんきつ類の輸出の現状と「FPO」の輸出支援策について」や、農産物マーケティング戦略課輸出・流通企画の中村粹恵さんの「県産青果物の輸出拡大の取り組み」などのお話もうかがうことが出来、大変勉強になりました。



夏も本番! 「土佐文旦と旅」特集!